第５号
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
令和８年９月１日

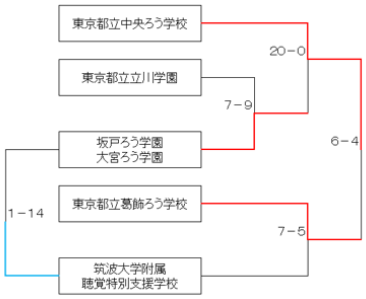
坂ろうだより

関東聾学校体育連盟大会　坂戸ろう学園　大活躍！

第75回関東聾学校バレーボール大会・卓球大会が夏季休業中に開催されました。6・7月月に行われました野球大会・陸上大会と合わせ、各部活動の活動報告をいたします。

野球部

例年夏に行われていた大会ですが、暑さ対策で実施が前倒しとなり、6月26日（金）・28日（日）・7月4日（土）・11日（土）に筑波大学附属聴覚特別支援学校グラウンドを会場に行われました。3位決定戦に敗れ、惜しくもメダル獲得は成りませんでしたが、大宮校と合同チームを編成し、チーム一丸となって白球を追い続けました。



陸上部

陸上大会は、7月10日（金）に上尾運動公園陸上競技場で行われました。出場は1名のみでしたが、最後までしっかり走り切りました。1500m：13位（6分30秒11）

バレーボール部

バレーボール大会は、7月29日（水）～30日（木）に清原体育館（宇都宮市）で行われました。坂戸ろう学園・大宮ろう学園・横浜市立ろう特別支援学校・千葉県立千葉聾学校の4チームで行われた予選リーグで1勝2敗となり、決勝トーナメントへの進出は叶いませんでした。

予選リーグ：vs大宮校（0-2）、vs千葉校（0-2）、vs横浜校（2-0）　1 勝 2 敗

卓球部

卓球大会は、8月17日（月）～19日（水）に長野市真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング）で行われました。目標に掲げていた金メダルには届きませんでしたが、個人戦・団体戦ともに全国大会に出場することができました。

女子個人戦：1 名準々決勝敗退⇒全国大会出場、2名2回戦敗退

女子団体戦：予 選リーグ　　vs大宮校3－0、vs千葉校1－2　予選リーグ突破

決勝トーナメント　vs中央校3－0、vs筑波校2－3　銅メダル、全国大会出場

オープンシングルス：1名1勝1敗・1名2勝

第一住宅坂戸団地　夏祭り太鼓出演（寄宿舎）　７月２５日（土）

暑さと夕立が心配されましたが、そんな不安をよそに、寄宿舎太鼓サークル「こばと会」が太鼓演奏を行いました。舎生代表のあいさつ、小学部児童による手話教室に続き、「秩父屋台ばやし」「雷神」「ぶち合わせ太鼓」の3曲を演奏しました。地域の皆様から応援していただき、寄宿舎の児童生徒の迫力ある演奏を披露することができました。

演奏後は、会場から手をひらひらさせる手話の拍手がたくさん送られました。

第１３回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 2026

7月28日（火）に予選審査会が行われ、坂戸ろう学園チームは「演劇・コント・ポエム等」部門において201点という高得点で見事1位通過しました。本大会は、9月27日（日）に鳥取県とりぎん文化会館で行われます。

演目：ろうあ島　～そして、広がる～

とある二人の男が海へ釣りに出掛けた。しかし、遭難した二人は、とある謎の島に着いた。そこにはろう者、つまり手話で会話する先住民がいた。二人はろうの先住民に手話を教わりながら共に生活した。やがて、1年が過ぎた。互いに絆を深め、交流することの大切さを知る。船が修復され、二人は自分の国に帰ってろう者のことを広めることを誓い、島を後にした。

この劇では、聴者とろう者の目線の違いを表現しているが、これもろう者の文化の一つ。聴者とろう者が共に生活する中でお互いの文化を理解し、手話を身につけられる場所が限られている。身近なところから簡単な手話を広めつつ、両者が暮らしやすい差別のない世界を作っていきたい。

災害の夏、そして子供たちの挑戦

校長　棚田　茂

この夏も各地で熊本地震や千葉豪雨による被害が相次ぎ、自然災害の恐ろしさと、日頃から備えることの大切さを改めて感じました。そのような中、本校の子供たちは、さまざまな場面で心を動かす姿を見せてくれました。7 月 25 日には、寄宿舎太鼓サークル「こばと会」が地域の夏祭りで力強い演奏を披露し、会場から大きな拍手が送られました。関東聾学校体育大会でも、すべての競技に挑み、喜びも悔しさも仲間と分かち合いながら、最後まで懸命に立ち向かう姿がありました。悔し涙の先に「次こそは」と前を向く生徒たちを見て、胸が熱くなりました。９月に行われる全国高校生手話パフォーマンス甲子園への出場を決めました。子どもたちが、この学校で学べることを力に変え、２学期も一歩ずつ成長してほしいと願っています。